

Summer STEP Session 2014

札幌校 基礎学習開発専攻英語グループ 2 年目 宮武美羽

私は、9月2日から9月19日まで、ワシントン大学で行われた Short Term English Program (STEP) に参加してきました。このプログラムは、午前中にレベル別で英語の授業を行う STEP class と、週2回授業後にシアトル周辺の観光地などを回る Field Trip で構成されています。今回、私が参加したこのプログラムが具体的にどんなものであったかを記していきたいと思います。

まず、9月2日の午前中にクラス分けのテストと簡単なオリエンテーションがありました。テストはリスニングと、先生1名・参加者2名で行う簡単な面接でした。今回のリスニングテストは、ビデオを見て問題に答える形式で、いつも学校や英検、TOEIC で受けているものとは全く違っていました。面接では、自分の好きなことやシアトル、ホームステイでやりたいことなどを質問されました。以上のテストの成績からクラス分けされ、午後からクラスごとにオリエンテーションをするという流れでした。プログラムには様々な国の人々が参加していましたが、おそらく80%が日本人だと思っています。そのため、私のクラスは日本人が14人、サウジアラビア人、中国人がそれぞれ1人ずつという構成でした。

STEP class は3日からスタートしました。授業でどのようなことをするのかということは、恐らくクラスによって異なりますが、私のクラスではグループディスカッションを主として授業が展開されました。映画を見てそれについて感想などを書き発表する、複数の写真から一枚を選んでそれを2~3文で表し、どの写真が当てる、好きな映画のアピールポイントについて発表するなど、様々なトピックでディスカッションを行いました。授業の中で見た映画はもちろん面白かったのですが、それ以上に印象に残ったものは、授業で使用した写真です。きれいな湖の写真や大きな陸ガメの写真、イースター島のモアイ像の写真と本当にたくさんの写真がありましたが、これらはすべて先生自ら旅行して撮影したものでした。そのため、ひとつひとつの写真について、ここはどんなところだったとか、おすすめのスポットについて、さらに旅行中の面白いエピソードが聞けたので、飽きることなく授業に参加することができました。

そのほかに、ひとり1枚、フレーズか意味が書かれた紙が配られ、フレーズと意味が一致するようにペアを作るアクティビティなども行いました。こ

のアクティビティで扱ったフレーズは、辞書にも載っている成句表現から、現地の若者がよく使用する口語表現・スラングのようなものもあったので、よりリアルに近い英語を学ぶことができたと思います。

授業の最終日には、シアトルやその周辺地域のスポーツやコーヒーなど1つのテーマに沿って調べ、さらに現地の人にアンケートを取ってまとめたものを最終プレゼンとして発表しました。私は中国人の子とペアになり、ボーイング社についてプレゼンを行いました。ペアが日本人ではなかったため、話し合いなどの準備をすべて英語で行わなければならず、とても大変でしたが、より多くの英語を使うことができたので非常に良い経験をする事ができました。

以上のような通常の授業のほかに、私のクラスは、クラス独自の Field Trip のようなものを2回行いました。行先は Northwest African American Museum と Fremont です。

Northwest African American Museum は、廃校になった小学校の校舎を利用した、アフリカン・アメリカンの歴史や文化について学ぶことができる博物館です。博物館に入ってまず目に入ったのは、アフリカン・アメリカンの歴史を記した大きな年表でした。通常展示のひとつである年表には、奴隷船に乗せられてアメリカへ送られてきたことから、リンカーンによる奴隷解放宣言、そして今日のアフリカン・アメリカンの活躍について記されていました。日本の教科書には載っていないようなことについても記されていたので、アフリカン・アメリカンについて多くのことを学ぶことができました。また、私のクラスが訪れた時は、野球におけるアフリカン・アメリカンの歴史についての特別展示が行われていました。有名な選手が実際に使用したグローブやユニフォーム、バット、当時の試合のスコアブックなど様々なものが展示されていました。私は野球についてあまり知らなかったのですが、当時のプレーヤーが使用していたグローブやバット、防具のようなものを実際に触ったり、身に着けたりすることができるコーナーもあったので、楽しむことができました。

Fremont では、チョコレート専門店に行ったり、観光スポットである巨大なトロールをはじめとする石像をいくつか見に行ったりしました。トロールももちろん印象的でしたが、Fremont で最も印象に残ったことは、ユーモアなセンスがあふれる建物が多いということでした。マンションもオシャレでかわいいものが多く、街の中を歩いているだけで楽しい気分になることができました。

STEP 全体で行われる Field Trip では、シアトルの観光地として有名な

Pike Place Market やダウンタウン、フェリーに乗って 20 分ほどで行ける Bainbridge Island などに行きました。ダウンタウンにはいろいろなお店があり、シアトル滞在中何度も訪れましたが、全く飽きずに楽しむことができました。また、道中のバスの中で隣に座っていた現地の人と話すこともあり、アメリカの人々のフレンドリーさを実感したこともありました。

このように STEP を通して、ホームステイやいろいろな国の人との交流など、たくさんの貴重な体験をすることができました。これらの経験を将来生かしていくことができるようにしたいと思います。